

国際金融都市としての東京の役割

中 曾 宏
横 田 雅 之
濱 川 明 香

目 次

- | | |
|--|--|
| <p>1. はじめに</p> <p>2. 国内初の金融プロモーション組織FinCity.
Tokyoの誕生とその歩み</p> | <p>3. 東京の国際金融都市としての役割—金融仲介機能の高度化—</p> <p>4. 最後に—世界に冠たる国際金融都市を目指して—</p> |
|--|--|

英国のEU離脱や香港の国家安全法施行などによる欧州アジア金融市場の変化、新型コロナウイルスの国際的蔓延など、世界の社会経済情勢の変化が激しい時代、各国金融都市は熾烈な競争を繰り広げている。また、気候変動問題という言葉を目にしない日はもはやなく、世界各国が脱炭素化に向けてしのぎを削っている。今後、東京が、脱炭素化やデジタル化をはじめとする世界の潮流を見極め、金融都市としての独自の地位を獲得することが、少子高齢化などの社会課題を解決し、持続可能な経済成長を実現するためには急務である。



中曾 宏 (なかそ ひろし)

東京国際金融機構 会長。1978年東京大学経済学部卒業、同年日本銀行入行。国際決済銀行 (BIS) 出向、2003年金融市場局長などを経て、2008年理事、2013年副総裁。日本銀行での40年間、主に金融システムとグローバル金融市場の危機管理や量的緩和政策の出口政策を指揮。2018年同行退職、大和総研理事長。2019年4月より現職。



横田 雅之 (よこた まさゆき)

東京国際金融機構 事務局長。1989年早稲田大学理工学部建築学科卒業後、ゼネコン、シンクタンク、不動産鑑定事務所に勤務。2000年より大和証券SMBC (現・大和証券)、ゴールドマン・サックス証券などでJ-REITのIPOなどの不動産ファイナンスに関する投資銀行業務に従事した。2009年に東京証券取引所入社。東証では上場推進部長として、国内外の企業、J-REIT、ETF、インフラファンドなどの上場推進、市場振興を担当した。2021年4月より現職。早稲田大学大学院経営管理研究科非常勤講師。不動産鑑定士・1級建築士。



濱川 明香 (はまかわ あきか)

東京国際金融機構 シニアマネジャー。航空、海運事業に従事した後、2016年に平和不動産に入社。平和不動産本社の所在する兜町・茅場町地域における再開発事業、黎明期の国際資産運用センター推進機構 (JIAM) の副事務局長を経て、東京国際金融機構の法人設立準備段階から参画し現職。早稲田大学法学部卒業、一橋大学大学院法学研究科経済関係法専攻修士課程修了。